各種生物統計解析とモデリング&シミュレーション解析

准教授 ・ 鬼木　健太郎

大学院生命科学研究部 薬学系　薬物治療学

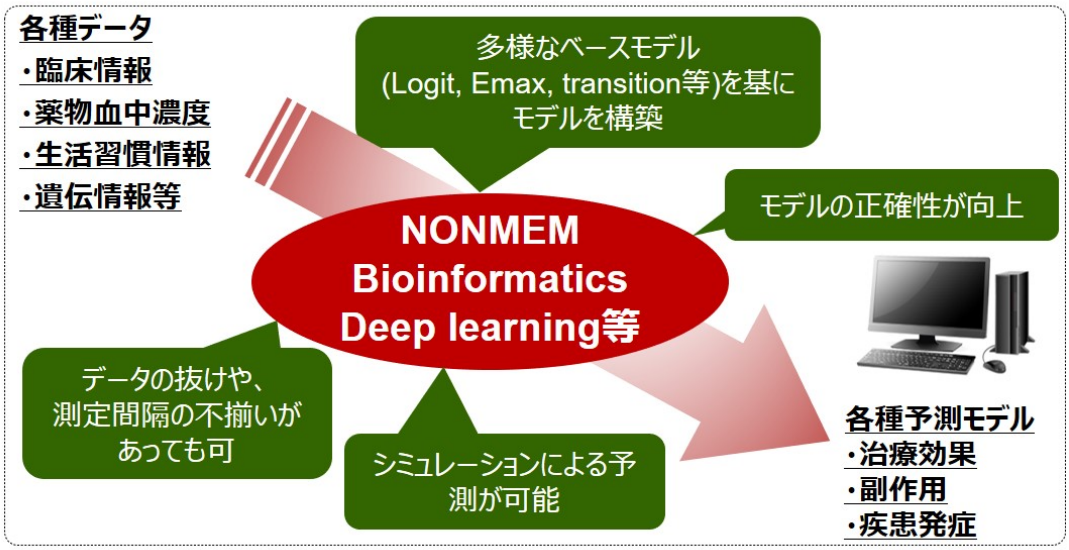
研究内容

1. 生物統計解析の実施支援・提案

◆ 単変量・多変量解析, 生存分析, ROC解析, 一般化推定方程式, 構造方程式モデリング, その他各種統計解析全般を総合的に判断し、実施支援・提案する

2. モデリング&シミュレーション解析

◆ 非線形混合効果モデル（NONMEM）等を用いて各種予測システムを構築



薬物の治療効果・副作用予測に加えて、**疾患の発症リスク予測**等に用いることができ、**個々に適した介入方法の提案**等を可能にする

応用分野等

非アルコール性脂肪性肝疾患 NAFLD 発症予測モデルの構築 個々の臨床・遺伝情報を基に、NAFLD予防のための最適な目標体重と運動量を提示するシステムを開発した

関連リンク

日本人では肥満の基準を満たしていなくても PNPLA3遺伝子に変異のある人は脂肪肝を発症しやすいことを証明 鬼木健太郎 平成27年7月23日

キーワード

生物統計　統計解析　モデリング　シミュレーション

《ご連絡先》　コーディネータ 合志　圭 TEL **096-342-3142** FAX:**096-342-3142** mail:**k-goshi@jimu.kumamoto-u.ac.jp**